

## 目を健康にして明るい毎日 「飲む目ぐすり」杞菊地黄丸

飛蚊症が増加傾向に

日中、空や白い壁などを見たときに黒い虫が目の前を飛んでいるように見えたり、糸くずのようなものが見えていませんか。また、暗闇の中で稲妻のようなものが見えていませんか。そのようなものが見えていなくても、いつも見えているのであれば「飛蚊症（ひぶんしょう）」の可能性があります。

飛蚊症の原因は大きく二つに分かれます。

①加齢による飛蚊症

目の中には透明なゲル状の硝子体（しょうじたい）という物質があります



が、加齢によって萎縮してしまい、硝子体の後ろが網膜からはがれてしまうことがあります。この部分が黒い点や糸くずのように見えてしまいます。

②生理的な原因でおこる飛蚊症

硝子体が時間の経過とともに変化し一部にしわのようなものができること

があります。この部分が濁ることその陰が網膜に映るので虫や糸くずのように見えてしまいます。近年の研究では、目に目に入った紫外線や、パソコンや携帯電話の液晶から発生する青色光が作用して硝子体内に活性酸素を生じさせ、硝子体内のタンパク質や脂質が酸化させて組織自体を変質させることがわかってきました。

加齢や目の酷使が原因と考えられる飛蚊症は四〇歳代以上では六〇%の人がかかりやすい病気でした。近年ではパソコンや携帯ゲーム機、携帯電話の普及で一〇歳代、二〇歳代にもかかる方が多くなっています。次第に慣れてしまうので放置される場合が多いのですが、網膜が裂けてしまう網膜裂孔や網膜剥離など手術が必要な目の病気に発展してしまつこともあるので早めのケアが必要です。

### 目の異常には肝と腎の強化を

漢方では目の異常は血液不足で生じると考えられてきました。生命エネルギーを生成する腎（じん）とそれを体内に循環させる血を生成する肝（かん）の衰えが目の代謝を悪くしているのです。

この状況におすすめるのが「杞菊地黄丸（こぎくじおうがん）」です。杞菊地黄丸を飲むことで肝臓・腎臓の機能が強化され、肝血と精血が体内で産生されます。とくにドライアイでお困りの方には

即効性があります。

杞菊地黄丸のもともとの処方方は六味地黄丸という中国古来の名処方、頭がふらつく、手のひらや足のうらがほてる、腰やひざがだるくて力が入らない、精力減退、口が渇く、尿の出に勢いが無い、残尿感と余瀝（排尿後のしだり）があるなど人間の老化に関わりの深い症状に対応するものです。この六味地黄丸に腎と肝の働きを補い、強壯作用のある枸杞子と、眼の疾患にもっとも多く使用される生薬で腎の熱と肝の熱を鎮める菊の花を加えたのが杞菊地黄丸なのです。

古来から使われる「飲む目ぐすり」杞菊地黄丸で目の異常は早めに対処しましょう。

クラシエ薬品「杞菊地黄丸」  
七二〇粒入り（一ヶ月分）

七、〇〇〇円＋税  
一日三回、一回八粒を目安に服用してください。



「杞菊地黄丸」についてのご相談や質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております



「健康的にダイエット！」なら「マイクロダイエット」をお試ください

マイクロダイエット正規取扱店

# ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150

当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>